

尚大短期大学資金書類

昭和廿六年七月

09937
213

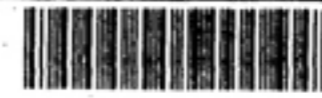
09937
213

架

昭和二十六年七月 尚大短期大学資金関係文書

T377.1
シ

市立小樽図書館
Tel 0134 (22) 7726



1110121934

09937
213

494

昭和二十八年三月

市立小樽図書館

市史編さん室
から保管転換

57.9.11

短大資料室蔵

包



趣意書

本邦有数の商業文化都市を誇る當小樽市の最高學府を以て任ずる小樽商科大學は明治四十三年創設以來縷次の躍進を續けて参りましたが勤勞青年を對象とした夜間の大學課程は残念ながらその門が開かれていながつたのであります。

一昨年以來市民の輿望が結集し幸いにも中央の認める處となり本年五月二日授業を開始、目下校舎建築が進められていきますことは御同慶に堪えません。

然しながらこれが内部施設は地元の負擔という條件でようやく發足した次第でありますので全市民の皆様の御協力を得なければ所期の完成は不可能であります。此處に本委員會を結成し目的實現に邁進致すことになりました勤勞青年の資質向上こそ新日本建設の礎石であるここに思いを致されまして特段の御協力を懇願致す次第であります。

昭和二十七年五月十八日

小樽商科大學短期大學部 資金造成委員會

事務局 小樽市役所教育課内
電話代表 四、五〇〇番
直通電話 四、一四九番

寄附承諾書

一金

圓也

短大資金造成の趣旨を賛し右寄附を承諾致します

昭和 年 月 日

住所

氏名

小樽商科大學短期大學部

資金造成委員會委員長殿

十四 土	十三 金	十二 木	十一 水	十 火	九 月	七 土	六 金	育 日 曜
朝里 三時	奥天	入舟上部	山田	花園	稻穂 中興 会館	手宮	祝津	方面
収入役 関口	赤坂 市長 長坂	加藤 教員 長坂	栗 牧 関口	岩 教員 半田	岩 教員 関口	高 助 半田	赤坂 関口	三 久木
銭函	岩竹 又時	入舟下部	入舟下部	色内 海 会館	色内 海 会館	長崎 七時	高島	方面
収入役 関口	赤坂 市長 関口	加藤 教員 関口	栗 牧 関口	岩 教員 関口	岩 教員 関口	高 助 関口	赤坂 関口	三 久木

十四 土	十三 金	十二 木	十一 水	十 火	九 月	七 土	六 金	育 日 曜
朝里	奥天	入舟上部	山田	花園	稻穂	手宮	祝津	方面
収入役 関口	赤坂 市長	加藤 教員	栗 牧	岩 教員	岩 教員	高 助	赤坂 関口	三 久木
銭函	岩竹	入舟下部	入舟下部	色内	色内	長崎	高島	方面
収入役 関口	赤坂 市長	加藤 教員	栗 牧	岩 教員	岩 教員	高 助	赤坂 関口	三 久木

(取附)

(取附)

十日

十一日

昭和26年收支出言

1 科目 (一般會計) (款) 諸金(項) 諸員 (目) 短期大學設置道員粗金

2 豫算額 1,000,000円

3 支出済額 ~~7,460,000円~~

27.1.23 1,000,000円 圖書整備費212

内 諸員 3,400,000円 設備費0部212

27.4.5 550,000円 設備費0部212

4 豫算残額 800,000円

内 800,000円は翌年6、事業繰越

花園地也

- 西三ノ一 小樽建設業会
- 東一ノ二 フシア商会
- 西二ノ三 湯野製菓
- 西三ノ一 北洋振興銀行
- 西二ノ一 シエール石組
- 東一ノ一 新井運動具店
- 西一ノ一 北海産商店
- 東四ノ一 札幌酒造工業
- 東二ノ一 清涼飲料協会
- 東四ノ一 遠友理髮店
- 東一ノ一 吉川英次
- 西一ノ一 細野長太郎
- 東一ノ一 トーヨー社
- 西三ノ一 館塚茶店
- 西四ノ一 阿部正太郎
- 西四ノ一 井口光斗
- 東一ノ一 多志実
- 佐々木
- ワタナベ家具店
- 太 陽
- 吉田金物店
- 五十嵐靴店
- フタニ化粧品店
- 小林羅紗店
- 小樽製パン
- 東三ノ一 子田生命
- 西四ノ一 岩井製パン
- 西三ノ一 上野彦太郎
- 高村
- 西三ノ一 豊 柴 莊
- 西三ノ一 渡部 清英
- 東三ノ一 菓子商工業協組

緑 富岡地也

- 西四ノ一 倉橋米店
- 高岡町 北海道電力
- 高岡町 栄 米店
- 小田 相生 東雲地也
- 東雲町 光 米
- 西一ノ一 雜穀販賣商組
- 不代本
- 堀 港町地也
- 堀 日進貿易
- 北 大同倉庫
- 北 林屋製茶
- 北 販 運
- 北 備物産
- 堀 川 北海殿粉
- 堀 柴山倉庫
- 堀 伊波倉庫
- 堀 橋谷商店
- 堀 盛化学食品
- 堀 丸成商店
- 堀 本間三雄
- 堀 日栄商店
- 堀 林 康
- 堀 安 部 算
- 堀 青上屋業

堀町

- 堀町 五ノ一 宮下商店
- 堀町 五ノ二 箱積倉庫
- 堀町 五ノ三 合同物産
- 堀町 五ノ四 炭一通商
- 堀町 五ノ五 日友商店
- 堀町 五ノ六 小樽青果物
- 堀町 五ノ七 今井産業
- 堀町 五ノ八 北日本薬工業
- 堀町 五ノ九 伊波忠商店
- 堀町 五ノ一〇 昭和石油
- 堀町 五ノ一一 紅商株式会社
- 堀町 五ノ一二 東興商事
- 堀町 五ノ一三 木村倉庫
- 堀町 五ノ一四 越崎商店
- 堀町 五ノ一五 高野商店
- 堀町 五ノ一六 五草株式
- 堀町 五ノ一七 花岡
- 堀町 五ノ一八 二忠産業
- 堀町 五ノ一九 高 林
- 堀町 五ノ二〇 津 順
- 堀町 五ノ二一 頭師勇流
- 堀町 五ノ二二 嘉野商店
- 堀町 五ノ二三 小樽冷花
- 堀町 五ノ二四 安宅産業
- 堀町 五ノ二五 森川商店

6.6. B200

短大完全造成費
名額 340万円

- 1. 予備費 控除 経費
- 2. 控除 依託 久木教授依頼
- 3. 地子費 及 土地代
過 委託 印 民 団 体 (国 立 研 究 所 等 の 資 料)

総額 1100万円 4町内会 305

辻 池 (村) 新 川 島 町 吹
 越 中 石 橋 音 田 等 町 日 村
 散 光 和 日 西 川

大 口 207 5000円 x 20 = 10万
 小 口 20万

- 委員 1. 池田 和 日 女 日 34K
- 2. 日 村 光 村
- 3. 辻 厚 川 中 村 和 日 中 町
- 4. 越 中 音 田 石 橋 村

委託 委託 委託 委託 委託 委託

小樽市役所

国体大会一協賛会寄附募金集積表

区城別	大口		一般		計		摘要
	口数	不足額	口数	不足額	口数	不足額	
1	1	100,000	70,000	25,787	400,000	321,987	100 1000円以上寄附76人
2	60	917,000	468,400	311,570	1,277,000	778,990	200 150
3	4	55,000	88,000	163,330	355,000	251,330	150 40
4	35	412,500	237,877	76,300	683,500	314,177	100 40
5	73	1,782,000	1,477,677	143,400	2,075,000	1,641,097	300 300
6	38	371,000	160,500	185,000	571,000	345,500	80 50
7	15	435,000	198,000	142,768	651,000	340,768	60
8	1	5,000	-	61,550	122,000	61,550	30
9	4	40,000	135,000	80,895	221,000	94,375	20
高島	1	10,000	-	105,630	112,000	105,630	15
計	-	-	-	36,380	40,000	36,380	7

小樽市役所

計	252	4,147,500	2,733,874	2,447,000	1,589,760	657,850	4,823,714	1067
計	-	-	-	56,000	31,170	56,000	31,170	7

No. _____
 領 收 書
 一 金 圓 也

但小樽短大資金造成委員會寄附金

(全 額)

右正に領收しました

昭和廿七年 月 日

小樽短大資金造成委員會

會長 松川嘉太郎

殿

撥者印

No. _____

月 日		寄附金	一 金	圓 也
撥者印	住所	氏 名		
局事務印	町			
	丁目			
取事務局	番地			
月				
日				

(本片は現金と共に事務局へ御出し下さい)

No. _____

月 日		寄附金	一 金	圓 也
住所	氏 名			
取事務局				
月				
日				

(控)

昭和27年度 4 月中 人口動態調 (5月1日) 市民係

區分	種別	世帯数	人口数		自然増減	社会増減	前 世帯人口	対比
			総計	男女				
第1出張所		6,157	29,418	14,521	14,897	8	-24	
2		4,208	18,963	9,174	9,789	-9	-73	
3		4,685	21,467	10,777	10,690	-6	204	
4		3,788	16,105	7,488	8,617	15	60	
5		2,802	12,131	5,981	6,150	13	54	
6		4,540	21,455	10,721	10,724	-7	-30	
7		3,994	17,480	8,704	8,776	-5	-26	
8		1,882	10,058	4,988	5,070	-1	46	
9		3,286	16,047	8,101	7,946	6	193	
朝里出張所		800	4,053	2,104	1,949	-	28	
高島支所		1,981	10,560	5,074	5,486	-	-124	
銭函支所		1,105	5,693	2,894	2,799	-3	14	
準世帯		14	119	69	50	-1	11	
合計		38,742	183,549	90,596	92,953	10	333	

昭和27年度 4 月中 人口動態調 (5月1日) 市民係

區分	種別	世帯数	人口数		自然増減	社会増減	前 世帯人口	対比
			総計	男女				
第1出張所		6,157	29,418	14,521	14,897	8	-24	
2		4,208	18,963	9,174	9,789	-9	-73	
3		4,685	21,467	10,777	10,690	-6	204	
4		3,788	16,105	7,488	8,617	15	60	
5		2,802	12,131	5,981	6,150	13	54	
6		4,540	21,455	10,721	10,724	-7	-30	
7		3,994	17,480	8,704	8,776	-5	-26	
8		1,882	10,058	4,988	5,070	-1	46	
9		3,286	16,047	8,101	7,946	6	193	
朝里出張所		800	4,053	2,104	1,949	-	28	
高島支所		1,981	10,560	5,074	5,486	-	-124	
銭函支所		1,105	5,693	2,894	2,799	-3	14	
準世帯		14	119	69	50	-1	11	
合計		38,742	183,549	90,596	92,953	10	333	

昭和二十七年三月

第七回国体又キ一大會
寄附者 啓 茲

一、〇〇〇円以上

川樺市協賛会

金額(円)	所在地	氏名又は名称	金額(円)	所在地	氏名又は名称
100,000	北 沢 町	北沢製缶山形支店	30,000	色内町七、二六	川務建設組合
100,000	北 沢 町	川務 医 師 会	30,000	花巻町西三、一	川務建設業会
100,000	北 沢 町	池田製菓株式会社	30,000	色内町六、一	銀行 協 会
50,000	北 沢 町	川務冷蔵業会	28,850	色内町六、一	川務齒科医師会
50,000	北 沢 町	北沢製紙株式会社	21,300	色内町四、三三	川務製糖 協 同 組 合
50,000	北 沢 町	北沢通商銀行山形支店	20,000	稲穂町東六、二五	株式会社 大國屋
50,000	北 沢 町	川務食糧協同組合	20,000	塚 町	日産製糖株式会社
50,000	北 沢 町	三馬丁六株式会社	20,000	奥沢町一、八	共成株式会社
50,000	北 沢 町	丸井今井山形支店	20,000	色内町六、一	北沢通商銀行山形支店
50,000	北 沢 町	川務製糖業協同組合	20,000	稲穂町東六、二六	北沢通商銀行山形支店
50,000	北 沢 町	山形台同通商株式会社	20,000	稲穂町東六、二六	北沢通商銀行山形支店
50,000	北 沢 町	川務石炭産出株式会社	20,000	色内町	清水産業株式会社
50,000	北 沢 町	川務市漁業協同組合	20,000	山、上町三	井華製業株式会社
50,000	北 沢 町	三井山形株式会社	20,000	色内町六、一	日本製粉山形工場
50,000	北 沢 町	三菱製糖株式会社	20,000	色内町六、一	川務通商銀行山形支店
50,000	北 沢 町	炭酸汽水株式会社	20,000	色内町六、三	川務商 品 販 売 所
50,000	北 沢 町	石炭産出株式会社	20,000	入舟町八、一	北沢通商銀行山形支店
50,000	北 沢 町	北陸銀行山形支店	20,000	入舟町八、一	大成建設株式会社
50,000	北 沢 町	北沢通商銀行山形支店	20,000	川務市警署内	川務自動車協会
20,000	東 豊 町	大同製糖株式会社	10,000	色内町	第一銀行山形支店
15,000	塚 町	北陸通商銀行山形支店	10,000	富岡町一、四九	北沢通商銀行山形支店
15,000	稲穂町西六、一	中央水ニル	10,000	色内町四、四	北 沢 共 栄 会
15,000	入舟町三、一	川務地方産物販出組合	10,000	色内町	株式会社野口商店
15,000	稲穂町東六、二	川務製糖業協同組合	10,000	色内町五、一	帝國銀行山形支店
15,000	廣栄町一、二	北沢通商銀行山形支店	10,000	色内町	株式会社山内商店
15,000	色内町八、三	北沢通商銀行山形支店	10,000	港 町	株式会社日藤商店
15,000	新 沢 町	共同通商銀行山形支店	10,000	入舟町二、三	株式会社藤井商店
15,000	稲穂町西六、一	川務石炭株式会社	10,000	色内町	三馬丁六株式会社
15,000	色内町八	千代田銀行山形支店	10,000	色内町	日本銀行 山形支店
15,000	色内町	東京銀行山形支店	10,000	有 観 町 八 六	興川水産株式会社
15,000	色内町	富士銀行山形支店	10,000	色内町六、三	第一産業株式会社
15,000	稲 穂 町	三井水産株式会社	10,000	稲穂町東八	北沢通商銀行山形支店
15,000	色内町	北沢通商銀行山形支店	10,000	色内町六、四	株式会社水産山形支店
15,000	色内町	川務製糖業協同組合	10,000	色内町六、一	日本製糖山形支店
15,000	色内町	川務第一製糖株式会社	10,000	色内町	北沢通商銀行山形支店

一〇、〇〇〇	新 沢 町	川崎運送株式会社	一〇、〇〇〇	堺 町	大和産業株式会社
一〇、〇〇〇	新 沢 町	北海産業株式会社	一〇、〇〇〇	堺 町	日通興業川崎支店
一〇、〇〇〇	色内町一、四三	宇井商社株式会社	一〇、〇〇〇	色内町七、五六	東光商社株式会社
一〇、〇〇〇	花園町一、一一	アジア商社	一〇、〇〇〇	東雲町五、八	三進石炭運輸株式会社
一〇、〇〇〇	色内町六丁目	川崎製糖株式会社	一〇、〇〇〇	花園町三、一	川崎製糖株式会社
一〇、〇〇〇	色内町六丁目	北海道通商銀行川崎支店	一〇、〇〇〇	花園町三、一	北洋通商銀行川崎支店
一〇、〇〇〇	落 町五、二	川崎製糖株式会社	一〇、〇〇〇	落 町二、二	宇井産業株式会社
一〇、〇〇〇	堺 町九、〇	株主会社 森川商店	一〇、〇〇〇	稲 穂 町	加藤製糖株式会社
一〇、〇〇〇	色内町六丁目	三菱石油川崎製糖	一〇、〇〇〇	山 上 町	協和銀行川崎支店
一〇、〇〇〇	色内町八、三	雄利製糖川崎製糖所	一〇、〇〇〇	稲 穂 町	池陽亭 宮松製糖
一〇、〇〇〇	北沢町三、六	株主会社 藤田商店	一〇、〇〇〇	入 井 町一、二〇	北海道新成社
一〇、〇〇〇	花園町四、二六	湯浅製糖川崎支店	一〇、〇〇〇	入 井 町一、二〇	新 原 商 社
一〇、〇〇〇	色内町七、五	北洋通商銀行川崎支店	一〇、〇〇〇	興 沢 町六、四四	日成工業株式会社
一〇、〇〇〇	色内町九、二	川崎製糖株式会社	一〇、〇〇〇	堺 町六、二	川崎製糖株式会社
一〇、〇〇〇	色内町五、五	三 庫 商 店	一〇、〇〇〇	千代田ビル内	シニール石油株式会社
一〇、〇〇〇	堺 町一、一	北阪連川崎出張所	一〇、〇〇〇	花園町西二	多クノクニヤ製糖
一〇、〇〇〇	色内町五、五	井 屋	一〇、〇〇〇	在 初 町一、二七	神野商店株式会社
一〇、〇〇〇	色内町五、五	新 松 川 崎 支 店	一〇、〇〇〇	入 井 町	川崎製糖株式会社
一〇、〇〇〇	色内町五、五	新 松 川 崎 支 店	一〇、〇〇〇	錦 町一、四	日東水産株式会社

一〇、〇〇〇	興 沢 町二、一八	日本清酒川崎支店	五、〇〇〇	色内町四、三三	前 堀 商 店
一〇、〇〇〇	入 井 町一、七	新原産業株式会社	五、〇〇〇	色内町八	新原食品株式会社
一〇、〇〇〇	興 沢 町五、九三	第一工株式会社	五、〇〇〇	色内町六、三一	第一水産株式会社
一〇、〇〇〇	色内町四、一一	川 又 商 店	五、〇〇〇	色内町八	倉倉製糖株式会社
一〇、〇〇〇	手塚町三、一一	日本通運川崎支店	五、〇〇〇	稲 穂 町西八	杉本花月堂
一〇、〇〇〇	入 井 町	北洋通商銀行川崎支店	五、〇〇〇	稲 穂 町東六	新三三三製糖株式会社
一〇、〇〇〇	第二埠頭埋立地	進 沢 製 糖 川 崎 支 店	五、〇〇〇	興 沢 町一、二	津田木材自資会社
一〇、〇〇〇	南 沢 町三、三	川崎製糖株式会社	五、〇〇〇	色内町四	北海道製糖組合
一〇、〇〇〇	南 沢 町	株主会社 三 茶 屋 産	五、〇〇〇	落 町	北日本製糖株式会社
一〇、〇〇〇	手塚町三、一三	日本通運川崎支店	五、〇〇〇	入 井 町二、四一	高 野 商 店
一〇、〇〇〇	南 沢 町	北洋通商銀行川崎支店	五、〇〇〇	永 井 町一、二	株主会社 中 堀 商店
一〇、〇〇〇	入 井 町一、二六	竹村商社株式会社	五、〇〇〇	色内町六、一	瑞發商社株式会社
一〇、〇〇〇	入 井 町一、一八	川崎製糖川崎支店	五、〇〇〇	北 堀 町	瑞 西 五 美 所
一〇、〇〇〇	入 井 町一、一四	三 聯 商 社 株 主 会 社	五、〇〇〇	色内町西、三〇	竹内工業株式会社
一〇、〇〇〇	入 井 町一、一〇	瑞發北洋通商銀行川崎支店	五、〇〇〇	稲 穂 町三、一八	日成商社株式会社
一〇、〇〇〇	入 井 町一、〇七	川崎製糖株式会社	五、〇〇〇	稲 穂 町東七	三 柳 製 糖 商 店
一〇、〇〇〇	入 井 町一、〇三	北洋通商銀行川崎支店	五、〇〇〇		

一、〇〇〇〇	〇	稲穂所東五	桑山平精	一、〇〇〇〇	山田新	前川依章
一、〇〇〇〇	〇	〇	山田徳之助	一、〇〇〇〇	仲ノ町三八	鈴木善之助
一、〇〇〇〇	〇	〇	市村敏彦	一、〇〇〇〇	余天所	石木盤
一、〇〇〇〇	〇	〇	飯屋五郎	一、〇〇〇〇	入新町七ノ二	枝路
一、〇〇〇〇	一、〇〇〇〇	色内町八ノ一	川沼運助	一、〇〇〇〇	〇	鋼谷五平
一、〇〇〇〇	一、〇〇〇〇	〇	上林正次郎	一、〇〇〇〇	〇	谷野善作
一、〇〇〇〇	一、〇〇〇〇	〇	三池三井武蔵	一、〇〇〇〇	七、七	本岡幸司
一、〇〇〇〇	一、〇〇〇〇	〇	南七黄衣武蔵	一、〇〇〇〇	八、四七	近藤仙太郎
一、〇〇〇〇	一、〇〇〇〇	〇	尾山木村武蔵	一、〇〇〇〇	八、四七	喜田与四郎
一、〇〇〇〇	一、〇〇〇〇	〇	尾山木村武蔵	一、〇〇〇〇	八、四七	吉川秀松
一、〇〇〇〇	一、〇〇〇〇	〇	尾山木村武蔵	一、〇〇〇〇	八、四七	松井在太郎
一、〇〇〇〇	一、〇〇〇〇	〇	尾山木村武蔵	一、〇〇〇〇	八、四七	出口印刷店
一、〇〇〇〇	一、〇〇〇〇	〇	尾山木村武蔵	一、〇〇〇〇	八、三三	八喜義治
一、〇〇〇〇	一、〇〇〇〇	〇	尾山木村武蔵	一、〇〇〇〇	八、三三	上野商店
一、〇〇〇〇	一、〇〇〇〇	〇	尾山木村武蔵	一、〇〇〇〇	八、三三	川橋維徳株式会社
一、〇〇〇〇	一、〇〇〇〇	〇	尾山木村武蔵	一、〇〇〇〇	八、三三	金子商會株式会社
一、〇〇〇〇	一、〇〇〇〇	〇	尾山木村武蔵	一、〇〇〇〇	八、三三	泉ノノノ株式会社

一、〇〇〇〇	一、〇〇〇〇	北沢町三、六	日産清業株式会社	一、〇〇〇〇	花田町東二、一四	安田生命小務支社
一、〇〇〇〇	一、〇〇〇〇	稲穂町西三、二一	平野 隆造	一、〇〇〇〇	〇	岩製六ノ株式会社
一、〇〇〇〇	一、〇〇〇〇	港町四九	頭所 勇彦	一、〇〇〇〇	西二、一五	上野孝太郎
一、〇〇〇〇	一、〇〇〇〇	稲穂町西三、二九	永田 正則	一、〇〇〇〇	〇	豊村よ心
一、〇〇〇〇	一、〇〇〇〇	若竹町六八	理正藤三業株式会社	一、〇〇〇〇	西二、二一	豊 樂 荘
一、〇〇〇〇	一、〇〇〇〇	〇	日産清業株式会社	一、〇〇〇〇	南高島町七、二	高橋 政雄
一、〇〇〇〇	一、〇〇〇〇	勝細町七	勝細製板所	一、〇〇〇〇	六、二	安田純太郎
一、〇〇〇〇	一、〇〇〇〇	花田町東一	多山興業店	一、〇〇〇〇	七、一	八田孝久
一、〇〇〇〇	一、〇〇〇〇	〇	三文學書店	一、〇〇〇〇	一、三三	大東産産株式会社
一、〇〇〇〇	一、〇〇〇〇	〇	フタナハ家具店	一、〇〇〇〇	北高島町	本岡米市
一、〇〇〇〇	一、〇〇〇〇	〇	太 陽	一、〇〇〇〇	〇	松本辰彦
一、〇〇〇〇	一、〇〇〇〇	〇	吉田安物店	一、〇〇〇〇	〇	佐藤銀治
一、〇〇〇〇	一、〇〇〇〇	〇	五十嵐 彌店	一、〇〇〇〇	〇	川林 裕一郎
一、〇〇〇〇	一、〇〇〇〇	〇	フタノ化産品店	一、〇〇〇〇	稲穂町東二	川餅与三五郎
一、〇〇〇〇	一、〇〇〇〇	〇	川林 彌助店	一、〇〇〇〇	〇	大滝 商店
一、〇〇〇〇	一、〇〇〇〇	〇	日根 政治	一、〇〇〇〇	〇	織田 商店
一、〇〇〇〇	一、〇〇〇〇	〇	所 治一郎	一、〇〇〇〇	〇	内藤 商店
一、〇〇〇〇	一、〇〇〇〇	〇	新 谷 久作	一、〇〇〇〇	〇	北都証券会社
一、〇〇〇〇	一、〇〇〇〇	〇	川橋 彌三郎	一、〇〇〇〇	花田町西二	渡部 清英

第二出張所区域内赤文貸打合會

一日時 昭和二十七年六月九日 白午後七時 九時三十分

二場所 稲穂町 中央会館

三出席者 山本副委員長 加藤、中川、桑原 豊岡会計士

早川南大教授、相之儀の後、見口、藤井主事、

四會議の概況

- 一、山本副委員長の報告、赤文の貸付と今次一、〇〇〇、〇〇〇円貸付の件、
とす。理由として、早川南大の報告を述べた。
- 二、早川南大の報告、在在、在在、早川南大の報告は、今次の貸付の件、
相之儀の報告、市例として、早川南大の報告は、
三、山本副委員長の進言、赤文の貸付は、今次の貸付の件、
四、山本副委員長の報告、赤文の貸付は、今次の貸付の件、
五、山本副委員長の報告、赤文の貸付は、今次の貸付の件、
六、山本副委員長の報告、赤文の貸付は、今次の貸付の件、
七、山本副委員長の報告、赤文の貸付は、今次の貸付の件、
八、山本副委員長の報告、赤文の貸付は、今次の貸付の件、
九、山本副委員長の報告、赤文の貸付は、今次の貸付の件、
十、山本副委員長の報告、赤文の貸付は、今次の貸付の件、

祝津地区

赤岩地区
高島町
南高島町
北高島町

- 南高島三六 日本製粉KK
- 南高島三八 齊藤文吉
- 北高島町 高島水産冷庫KK
- 小林仁八郎
- 金田 広
- 渡辺善太郎
- 飯田健一郎
- 本間 保
- 齊藤 宗言
- 会田 貞市
- 齊藤文三郎
- 会田 栄
- 高橋 泰一郎
- 村田造船所
- 吉田 順三助
- 小田 ツナ
- 日根 政治

南高島三六

- 南 治一郎
- 河合久作
- 高橋 政雄
- 安田 飛太郎
- 八田 孝久
- 大東食産KK
- 本間 米市
- 松本辰藏
- 佐藤 銀治
- 小林 福一郎

北高島町

- 北高島町 豊川清水 石山
- 北浜町 北海製氷小売店
- 北浜町 小橋 茂太郎
- 北浜町 日末水産KK
- 北浜町 日本通運小売店
- 北浜町 島野 二郎
- 北浜町 郵船運輸倉庫KK
- 北浜町 東洋木材企業KK

錦町五三

- 錦町五三 永山 政能
- 手宮町 国油商會
- 河辺石油KK
- 北浜相互銀行手宮支店
- 小橋 斎軒有限
- 九本水産KK
- 札幌 勸業運輸
- 太平洋石油KK
- 北光石油KK
- 北浜倉庫KK
- 舟木 下次
- 佐藤 竹吉
- 手宮町 浜田商店
- 北浜町 日島漁業KK
- 富安商店

福徳地区

福徳町東

- 東八三 小橋 医師会
- 東八二 丸井 今井 妙花 支店
- 東八三 大 国 屋
- 東八四 新宮 商行KK
- 東八五 中央 ホテル
- 東八六 小橋 保建 料理組合
- 東八七 小橋 石炭KK
- 東八八 三井 木炭 三業KK
- 東八九 北海道 三破 石炭
- 東九〇 小橋 麦雄 石炭 販売
- 東九一 小橋 才一 石炭KK
- 東九二 北海道 銀行 小橋 支店
- 東九三 小橋 喫茶 店組合
- 東九四 福 井 屋
- 東九五 加藤 建枝 三業KK
- 東九六 協和 銀行 支店
- 東九七 北海道 新南
- 東九八 北海道 炭 販売KK
- 東九九 杉本 花月 堂
- 東一〇〇 横山 産業KK
- 東一〇一 新田 三十二 産業

福徳町東七

- 東七二 王柳 良広 商店
- 東七三 小 黒 加津 馬
- 東七四 小川 麻次 郎
- 東七五 上光 証券KK
- 東七六 近藤 運動 具店
- 東七七 三十一 才一 百貨 店
- 東七八 北海道 炭 小橋 支店
- 東七九 明治 鉱業
- 東八〇 日本 鉱業
- 東八一 フジヤ 家具 店
- 東八二 小橋 美容 師会
- 東八三 角 研 ハンライ 店
- 東八四 小橋 青果 商店 組合
- 東八五 笠井 電気 店
- 東八六 藤山 倉庫
- 東八七 小橋 織物 販売KK
- 東八八 小橋 信用 金庫
- 東八九 北海道 交通 小橋 支店
- 東九〇 王 屋 喫茶 部KK
- 東九一 富 程 商店
- 東九二 北海道 製綿 三業
- 東九三 河村 禾品KK

福徳町西八

- 西八四 近藤 正五 郎
- 西八五 高木 商店
- 西八六 新生 食堂
- 西八七 伊藤 組 出張所
- 西八八 梅 月
- 西八九 武 忠
- 西九〇 藤森 克己
- 西九一 笹田 茂
- 西九二 大里 屋 商店
- 西九三 電気 館
- 西九四 北村 長衛 門
- 西九五 広 研 社
- 西九六 田中 文太郎
- 西九七 笠井 商店
- 西九八 小橋 農事 会社
- 西九九 三 幸
- 西一〇〇 天孫 勇
- 西一〇一 宮崎 商店
- 西一〇二 大柴 印刷KK
- 西一〇三 加藤 商店
- 西一〇四 河村 市田 店
- 西一〇五 フジヤ 家具 店
- 西一〇六 帝 畜 三十一 小橋 支店
- 西一〇七 平野 鹿 造

花園地区

西三ノ一 小樽建設業会
 東一ノ二 アシア商会
 西三ノ六 湯浅貿易
 西三ノ一 北洋相互銀行
 不登川内 シエル石種
 西二ノ一 スクオードツタキ工
 東二ノ一 新井通商具店
 西一ノ一 北海産商店
 東四ノ二 札幌酒造工業
 東三ノ一 清涼飲料協会
 東四ノ五 遠友理髮店
 東一 吉川 英次
 鮎野 花太郎
 フーコ社
 館 喫茶店
 西三ノ一 阿部 正次郎
 西四 井口 元子
 東一 多志 貞
 佐 文 幸
 ワタナヘ 義興店
 太 陽
 吉田金物店
 五十汽 靴店
 フタミ 化粧品店
 小林 羅紗店
 小樽製パン
 東三ノ四 子田 生命
 西四ノ二 岩井 製パン
 西三ノ五 上野 彦太郎
 高村 大
 西三ノ一 豊 柴 莊
 渡部 清英
 東三 菓子商工業協組

緑島町地区

西四ノ一 倉糧 大 結
 島田町 北海通商力
 一 兜 大 結
 東豊町 光 亭
 五 八 推 敷 殿 務 商 組
 小田 相生 東豊町
 堀 港 町 地 区
 堀 港 町 日 進 貿 易
 二 大 同 倉 庫
 北 林 産 製 茶
 北 販 販 運
 大 小 樽 物 産
 則 始 商 事
 五 北 海 殿 務
 一 九 柴 山 倉 庫
 四 一 仲 友 倉 庫
 橋 谷 商 店
 盛 化 学 食 品
 大 成 商 店
 本 間 三 雄
 日 菜 商 店
 林 康
 安 部 章
 備 水 産 業

堀 港 町 五 下 商 店
 堀 港 町 五 稻 積 倉 庫
 合同 物 産
 炭 一 通 商
 日 友 商 店
 堀 港 町 九 小 樽 青 果 物
 今 井 産 業
 北 日 本 菓 工 品
 伊 波 忠 商 事
 昭 和 石 油
 紅 商 株 式 会 社
 東 興 商 事
 木 村 倉 庫
 越 崎 商 店
 高 野 商 店
 五 草 株 式
 宅 間 小 人
 二 忠 産 業
 高 林
 堀 港 町 律 順
 堀 港 町 四 九 頭 師 勇 流
 嘉 野 商 店
 小 樽 登 花
 堀 港 町 五 安 宅 産 業
 堀 港 町 九 森 川 商 店

第五支展所区域田(白、相生、赤平町)委多打合会

一日時 昭和二十七年六月十日 白子夜七時

二場所 信支町 信支俱樂部

三、出席者 加藤健三、 島野、杉田、三谷、横山各委員

木村大教授、相木の役、女坂、杉本主事

田舎の状況

一、加藤委員より、これ迄の経過と今後の見通しを説明し、出席者各員
に意見を述べた。

二、相木の状況、市制と同日の経過を報告し、各委員の意見

を市林務課より、経大後進の状況と報告し、

三、田舎、市制と同日の経過を報告し、各委員の意見

田舎の状況、市制と同日の経過を報告し、各委員の意見

田舎の状況、市制と同日の経過を報告し、各委員の意見

寄附者芳名一覽表

氏名	豫定額	決定額	経過			
			第一回	第二回	第三回	第四回
山田 相生 東雲町方面			壹拾			
島山 野一二	自是相生町一の五 可寄住江町一の二〇	↓	四二七〇			
松田 金太郎	相生町一の五二		一〇八九			
三ツ谷 弘一郎	東雲町三二		/			
橋山 栄花	東雲町七一		二七八四			
只原						
田口 善花						
			三四六六			

②

趣 意 書

本邦有数の商業文化都市を誇る當小樽市の最高學府を以て任ずる小樽商科大学は明治四十三年創設以來縷次の躍進を續けて参りましたが勤勞青年を対象とした夜間の大學課程は残念ながらその門が開かれていながつたのであります。

一昨年以來市民の輿望が結集し幸いにも中央の認める處となり本年五月二日授業を開始、目下校舍建築が進められていきますことは御同慶に堪えません。

然しながらこれが内部施設は地元の負擔という條件でようやく發足した次第でありますので全市民の皆様の御協力を得なければ所期の完成は不可能であります。此處に本委員會を結成し目的實現に邁進致すことになりました勤勞青年の資質向上こそ新日本建設の礎石であることに思いを致されまして特段の御協力を懇願致す次第であります。

昭和二十七年五月十八日

小樽商科大学短期大學部 資金造成委員會

事務局 小樽市役所教育課内
電話代表 四、五〇〇番
直通電話 四、一四九番

寄附承諾書

一金 圓也

短大資金造成の趣旨を賛し右寄附を承諾致します

昭和 年 月 日

住所

氏名

小樽商科大学短期大學部

資金造成委員會委員長殿

祝津地区

2. 高島尻 赤岩地区

祝津地区
 祝町 日本製粉KK
 南高島三六 齊藤文吉
 北高島町 高島水産冷庫KK
 小林仁八郎
 金田 辰
 暖辺善太郎
 飯田健一郎
 本間 保
 奇藤 守吉
 会田 貞市
 奇藤 文三郎
 会田 栄
 高橋 善一郎
 村田 造船所
 吉田 順之助
 小田 ツナ
 日根 政治

南高島三六 有治一郎
 二二 的谷久作
 六二 高橋 政雄
 七一 安田 拓太郎
 八田 孝久
 六東 倉長 彦KK
 本間 米市
 松本 辰藏
 佐藤 銀治
 小林 福一郎
 北高島町
 手宮 錦 豊川 清水 石山
 北浜地区
 北浜町 北海製氷小島島
 錦町 西 小島 造船所KK
 日東 水産KK
 日本 通運 小島支店
 錦町 一四 島野 三郎
 手宮町 二 郵加運輸倉庫KK
 北浜町 三六 東洋 木材 企業KK

4. 長崎砂留地区

錦町 五二 永山 政能
 手宮町 国油商會
 河辺 石油KK
 北洋 相互銀行手宮支店
 錦町 留 小島 蒲鉾 有限
 丸本 水産KK
 札幌 自動車運輸KK
 太平 洋石油KK
 北光 石油KK
 北浜 倉庫KK
 舟木 三次
 佐藤 竹吉
 手宮町 一四
 北浜町 三二
 錦町 三〇
 手宮町 四六
 北浜町 二六
 富安 商店

5. 粕穂地区

粕穂地区
 粕穂町 東 小島 運師會
 東八三六 丸井 今井 岩文 店
 東七三三 大國 屋
 東七 新宮 商行トク
 西六一一 中央 ホテル
 東六一〇 小島 保連 料理 組合
 西六一四 小島 石炭トク
 三井 木炭 三業トク
 北海道 三硫 石炭トク
 小島 麥雄 石炭 販元
 小島 才一 石炭KK
 北海道 銀行 小島 支店
 東八 小島 喫茶 店 組合
 西五 福井 屋
 東八五 加藤 建設 三業トク
 協和 銀行 支店
 北海道 新南
 北海 石炭 販元KK
 杉本 花月 堂
 横山 産業KK
 新田 三十二 工業

粕穂町 東七 玉柳 良広 商店
 東七二 小島 加津 馬子
 東六 小川 麻次 郎
 東八 上光 証券KK
 東八 近藤 運動 具店
 西六一四 北海 石炭 小島 支店
 東四 明治 鋳業
 東八 日本 鋳業
 東八六 小島 家具 店
 西五二 小島 美容 師會
 東八 角 研 ハンコ 店
 西七 小島 青果 商業 組合
 東八 笠井 電気 店
 東七六 藤山 倉庫
 小島 織物 販元KK
 小島 信用 金庫
 北海道 交通 小島 支店
 王 屋 喫茶 部
 富野 商店
 北海道 製綿 工業
 河村 栄品KK
 西三七

粕穂町 西八 近藤 正五 郎
 西四 高木 商店
 東六六 新生 食堂
 東六八 伊藤 組 出張 所
 西三八 梅 月
 東六六 武 忠
 西八四 藤森 克己
 西六一 笹田 茂
 東六九 大黒 屋 商店
 西六 電気 館
 西六二 北村 長衛 門
 西六九 宏 研 社
 田中 文太郎
 笠井 商店
 小島 農事 會社
 三 草
 天保 勇
 宮崎 商店
 大柴 印刷KK
 加藤 商店
 河村 布 団 店
 フジヤ 家具 店
 帝 畜 三 小島 支店
 平野 鹿 造
 東八
 西三三

花園地区

- 西三ノ一 下橋建設業会
- 東一ノ二 フクフ商会
- 西三ノ一 湯浅貿易
- 西三ノ一 北澤相互銀行
- 西三ノ一 三上北石組
- 東一ノ一 新東通新見店
- 西一ノ一 北海産商店
- 東四三ノ一 札幌酒類工業
- 東三ノ一 清涼飲料協会
- 東四ノ一 遠友理髮店
- 東一 吉川 英次
- 西三ノ一 鮎野 花太郎
- 西三ノ一 下ヨ一社
- 西三ノ一 館喫 茶店
- 西三ノ一 阿部 正太郎
- 西四 井口 元子
- 東一 多志 真
- 佐 文 幸
- ワタナヘ家具店
- 太 陽
- 吉田金物店
- 五十嵐 艶店
- フタミ化粧品店
- 小林羅紗店
- 小樽製パン
- 東三ノ一 守田生命
- 西四ノ二 志井製パン
- 西三ノ一 上野 彦太郎
- 高村 大し
- 西三ノ一 豊 柴 莊
- 西三ノ一 渡部 清英
- 東三 菓子商工業協組

緑島地区

- 東四ノ一 全種大産
- 高野 一 北海通電力
- 高野 一 玉産
- 小田 相生 東雲地区
- 東四ノ一 光 亭
- 五ノ一 稚数殿務商組
- 才 代 本
- 堀 港 町 地 区
- 堀 港 町 日 進 貨 物
- 二ノ一 大同倉庫
- 北 購 連
- 北 販 運
- 北 販 運
- 六ノ一 小樽物産
- 財 務 商 事
- 五ノ一 北海殿務
- 一ノ一 柴山倉庫
- 四ノ一 伊波倉庫
- 橋 谷 商 店
- 盛 化 学 食 品
- 大 成 商 店
- 本 間 三 権
- 日 栄 商 店
- 秋 康
- 安 部 昌 子
- 清水産業

- 堀 港 町 五ノ一 箱積倉庫
- 合同物産
- 第一通商
- 日友商店
- 九ノ一 小樽青果物
- 今井産業
- 北日本青果物
- 伊波也商車
- 昭 和 正 油
- 七ノ一 紅商株式會社
- 東 興 商 事
- 三ノ一 木村倉庫
- 越 崎 商 店
- 高 野 商 店
- 五 章 株 式
- 宅 間 少 人
- 二 忠 産 業
- 堀 港 町 高 林
- 堀 港 町 四ノ一 頭師勇流
- 嘉 野 商 店
- 小樽産花
- 五ノ一 安宅産業
- 堀 港 町 九ノ一 森川商店

7.12. B2.00 牙心付打金

加84 熟成 150g

中川 特別列記 12分

加84 熟成 150g

大体完成して

足り不足を各年目へ割当

加84 熟成 150g

各年目別 12分

追加 150g

完成して 12分

12分

加84 熟成 150g

加84 熟成 150g

加84 熟成 (200g)

加84 熟成 150g 7.17 12分

12件 68.169

二〇〇〇〇	大國屋		
二〇〇〇〇	新宮商行 KK		
五〇〇〇	玉柳良広商店		
五〇〇〇	小黒加津馬		
五〇〇〇	小樽青果商業協組		
三一六九	藤山倉庫		
三〇〇〇	小樽織物販売 KK		
三〇〇〇	小樽信用金庫		
一〇〇〇	大栄印刷 KK		
一〇〇〇	④加藤商店		
一〇〇〇	①河村布団店		
一〇〇〇	フジヤ家具店		

箱穂町

七丁目

26件 120.400

五〇〇〇	藤山産物 KK	三〇〇〇	玉の尾製菓社
一五〇〇	中一実業 子儿	一五〇〇	新生食食堂
一一四〇	少樽保健材料 昭和	一五〇〇	洋務他 昭和
一〇〇〇	少樽石炭 昭和	一〇〇〇	武 忠
一〇〇〇	三井物産 昭和	一〇〇〇	笠向 茂
一〇〇〇	出海道 昭和	一〇〇〇	大進屋 昭和
一〇〇〇	少樽菱糖 昭和	一〇〇〇	霞 象 館
一〇〇〇	少樽第一石炭 KK	一〇〇〇	出村長 昭和
五〇〇〇	横山産物 昭和	一〇〇〇	石 研 社
五〇〇〇	少川 昭和	一〇〇〇	田中文 昭和
五〇〇〇	上光 昭和	一〇〇〇	安井 昭和
五〇〇〇	出海石炭 昭和	一〇〇〇	少樽 昭和
三〇〇〇	出海道 昭和	一〇〇〇	三 幸

六丁目

趣意書

本邦有数の商業文化都市を誇る當小樽市の最高學府を以て任ずる小樽商科大学は明治四十三年創設以來屢次の躍進を續けて参りましたが勤勞青年を對象とした夜間の大學課程は殘念ながらその門が開かれていながつたのであります。

一昨年以來市民の輿望が結集し幸いにも中央の認める處となり本年五月二日授業を開始、目下校舍建築が進められていきますことは御同慶に堪えません。

然しながらこれが内部施設は地元の負擔という條件でようやく發足した次第でありますので全市民の皆様の御協力を得なければ所期の完成は不可能であります。此處に本委員會を結成し目的實現に邁進致すことになりました。勤勞青年の資質向上こそ新日本建設の礎石であるここに思いを致されまして特段の御協力を懇願致す次第であります。

昭和二十七年五月十八日

小樽商科大学短期大學部 資金造成委員會

事務局 小樽市役所教育課内
電話代表 四、五〇〇番
直通電話 四、一四九番

寄附承諾書

一金 圓也

短大資金造成の趣旨を賛し右寄附を承諾致します

昭和 年 月 日

住所

氏名

小樽商科大学短期大學部

資金造成委員會委員長殿

昭和27年5月中 人口動態調 (昭和27年6月1日現在) 民生課

区分	種別	世帯数	人口		自然増減	社会増減		世帯人口		
			男	女		出生	死亡		移入	移出
第1出張所		6,171	14,615	14,933	71	156	384	310	14	130
2		4,213	9,180	9,765	34	102	276	318	5	-18
3		4,673	10,882	10,680	30	117	402	326	-12	95
4		3,779	7,472	8,639	21	74	247	255	-9	6
5		2,790	5,965	6,134	12	11	120	153	-12	-32
6		4,538	10,751	10,760	27	17	303	257	-2	56
7		3,508	8,696	8,787	26	9	216	230	14	3
8		1,878	4,981	5,079	20	7	118	129	-4	2
9		3,287	8,068	7,962	21	4	197	231	1	-17
朝里		797	2,052	1,944	6	2	47	108	-3	-57
高島支所		1,986	5,109	5,477	29	3	124	124	5	26
錢函支所		1,107	2,760	2,794	5	2	46	188	2	-139
準世帯		14	66	49	-	-	7	11	-	-4
合計		38,741	90,597	93,033	302	78	2,487	2,640	-1	51

札幌地区

2. 高島尻 赤岩地区

札幌地区
 高島尻 赤岩地区
 日本製粉KK
 齊藤文吉
 高島水産冷産KK
 小林仁八郎
 金田 広
 坂田善太郎
 飯田健一郎
 本間 保
 齊藤文三郎
 会田 貞市
 会田 栄
 高橋 恭一郎
 村田造船所
 吉田順三助
 小田 ツナ
 日根 政治

手宮町 豊川清水 石山
 北浜地区
 北浜町 一
 小樽造船所
 日本水産KK
 日本通運小樽支店
 錦町 一四
 島野 二郎
 手宮町 二
 郵船運輸倉庫KK
 北浜町 三六
 東洋木材企業KK
 手宮町 五
 国油商會
 河辺石油KK
 北洋相互銀行手宮支店
 小樽商船有限
 九本水産KK
 札幌自動車運輸
 太平洋石油KK
 北光石油KK
 北浜倉庫KK
 舟木 三次
 佐藤 竹吉
 手宮町 四六
 日魯通業KK
 富安商店
 北浜町 三六

長崎砂留地区

手宮町 五
 手宮町
 錦町 四
 錦町 五
 手宮町 一
 手宮町 二
 北浜町 三
 手宮町 四
 北浜町 五
 手宮町 六
 手宮町 七
 手宮町 八
 手宮町 九
 手宮町 一〇
 手宮町 一一
 手宮町 一二
 手宮町 一三
 手宮町 一四
 手宮町 一五
 手宮町 一六
 手宮町 一七
 手宮町 一八
 手宮町 一九
 手宮町 二〇

5. 穂穂地区

穂穂地区
 穂穂町 東
 小樽医師會
 丸井今井山移文店
 大國 屋
 新宮商行KK
 中央ホテル
 小樽保健科理組合
 小樽石炭KK
 三井木炭三業KK
 北海道三礦石炭KK
 小樽炭雄石炭販売
 小樽才一石炭KK
 北海道銀行小樽支店
 小樽喫茶店組合
 福井 屋
 加藤建設工業KK
 協和銀行小樽支店
 北海道新聞
 北海道炭販売KK
 杉本花月堂
 横山産業KK
 新田 三十二業木

穂穂町 東七
 王柳良広商店
 小黒 加津馬
 小川 麻次郎
 上光証券KK
 近藤運動具店
 三十一ヤ百貨店
 北海道炭小樽支店
 明治鉱業
 日本鉱業
 フジヤ家具店
 小樽美容師會
 角蔵ハシイ店
 小樽青果商業協同
 竹立井 電気店
 藤山倉庫
 小樽織物販売KK
 小樽信用金庫
 北海道交通小樽支店
 王 屋喫茶部
 富野 商店
 北海道製綿工業
 河村末品KK
 西二七

穂穂町 西三八
 近藤正五郎
 高木 商店
 新生食堂
 伊藤組出張所
 梅 月
 武 忠
 藤森克己
 笹田 茂
 大黒屋商店
 電気 館
 北村長衛門
 広 研 社
 田中文太郎
 笠井 商店
 小樽農事會社
 三 幸
 天保 勇
 宮崎商店
 大栄印刷KK
 加藤商店
 河村布商店
 フジヤ家具店
 帝書トナト格支店
 平野 鹿 道
 東八
 西三二

花園地区

西三ノ一 小樽建設業会
 東一ノ二 フジヤ商会
 西三ノ一 北洋銀行
 西三ノ一 三ノル石組
 東一ノ一 新井運新倉店
 西一ノ一 北海産商店
 東四ノ三 札幌糖業
 東一ノ五 清涼飲料協会
 東四ノ五 遠友理髮店
 東一 吉川 英次
 西三ノ一 阿部 正太郎
 西四 井口 元子
 東一 多志 真
 佐々木 幸
 ワタナヘ家具店
 太 陽
 吉田金物店
 五十汽 港店
 フタミ化粧品店
 小林羅紗店
 小樽製パン
 東三ノ六 子田生 命
 西四ノ二 岩井製パン
 西三ノ五 上野 彦太郎
 高村 八一
 西三ノ一 豊 栄 荘
 西二 渡部 清栄
 東三 菓子商工業協組

緑島町地区

緑島町 一 倉糧米産
 高野町 一 北海道電力
 二 児 玉 結

小田 相生 東産地也
 東豊町 光 岸
 一ノ五 推数殿務商組
 一ノ八 不代本

堀町 港町地区
 一ノ二 日進貿易
 一ノ三 大同倉庫
 一ノ四 北 林 製茶
 一ノ五 北 坂 製茶
 一ノ六 小樽物産
 一ノ七 明給商事
 一ノ八 北 海 殿 務
 一ノ九 柴山倉庫
 一ノ一〇 仲 友 倉 庫
 一ノ一一 橋 谷 商 店
 一ノ一二 盛 化 学 食 品
 一ノ一三 大 成 商 店
 一ノ一四 本 間 三 雄
 一ノ一五 日 菜 商 店
 一ノ一六 秋 康
 一ノ一七 安 部 算
 一ノ一八 水 産 業

堀町 五ノ一 冠下商店
 五ノ二 箱積倉庫
 五ノ三 合同物産
 五ノ四 第一通商
 五ノ五 日友商店
 五ノ六 小樽青果物
 五ノ七 今井産業
 五ノ八 昔本菓工品
 五ノ九 伊波忠商事
 五ノ一〇 昭和石油
 五ノ一一 紅商株式會社
 五ノ一二 東興商事
 五ノ一三 木村倉庫
 五ノ一四 越崎商店
 五ノ一五 高野商店
 五ノ一六 五葉株式
 五ノ一七 宅前小八
 五ノ一八 二忠産業
 五ノ一九 高 林
 五ノ二〇 堀 順
 五ノ二一 頭師勇流
 五ノ二二 嘉野商店
 五ノ二三 小樽珍花
 五ノ二四 安宅産業
 五ノ二五 森川商店

小樽商科大學短期大學部要覽

(昭和三十一年十月一日)

校歌

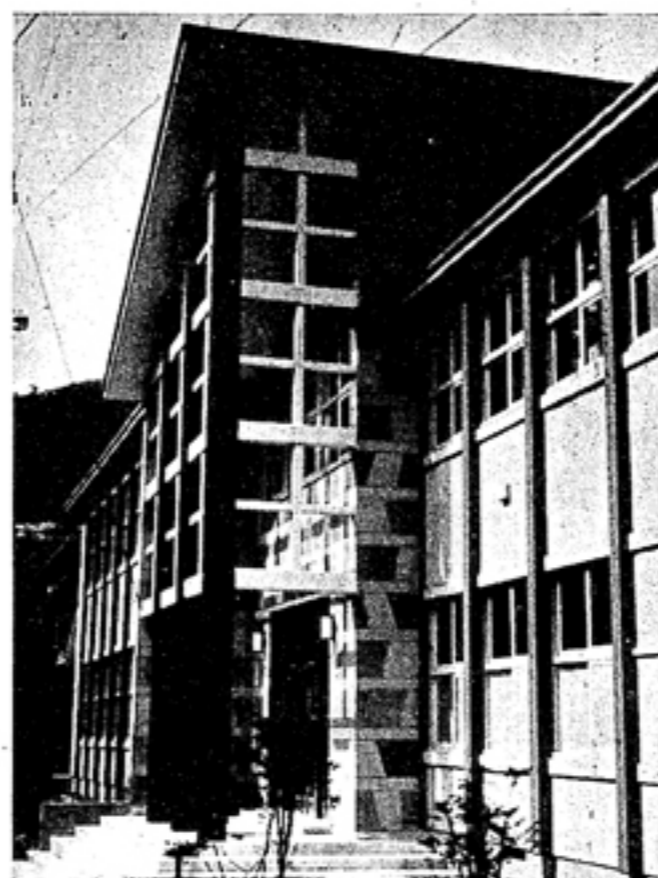
(一)
金鷲をどる渺々の
あけぼの霧ふ浪の唄
エルムの花に若人の
涯なきのぞみ数々秘めて
夢らるわしの
緑ヶ丘よ

(二)
夕陽映ゆる白樺の
梢をわたる風の唄
慈愛の山のふところに
銀翼ががき旋風移めて
唄はがらかの
緑ヶ丘よ

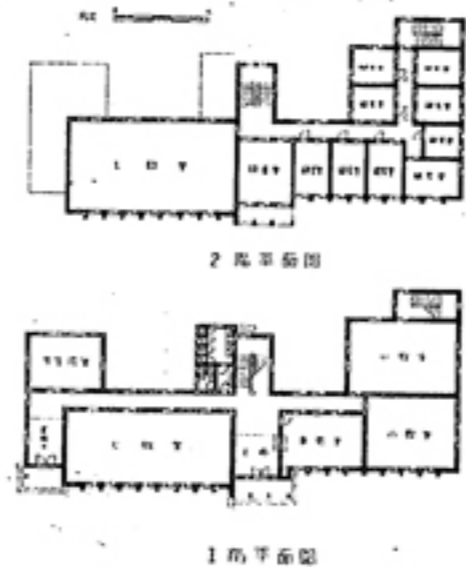
(三)
蒼穹はてず道つきず
はるかに仰ぐ北斗星
榮耀迎ふこの腕に
飛躍の力ひととき秘めて
花咲き匂ふ
緑ヶ丘よ

(四)
健腕拓く五大湖
凱歌はあがる我母校
感懐かてる若人の
血潮に湧き教へを秘めて
春永遠の
緑ヶ丘よ

小樽商科大學短期大學部新校舎



小樽商科大學短期大學部新校舎平面圖



一、沿革

本大學部は昭和二十七年三月三十一日國立學校設置法によつて設置せられ、同年四月十一日第一回の入學試験を経て五月一日より授業を開始したのである。そもそも本大學部の母体である小樽商科大學はその前身小樽經濟專門學校並びに小樽高等商業學校を通じて四十数年の歴史を有し六千有余の卒業生を出し我國經濟の發展に貢献し來たのであるが、たまたま昭和二十四年五月新制單科商科大學として發足するに及び種々の事情から大學に進學し得ない多数の勤勞青年の爲に短期大學設置の要望が各方面より嵩まり、北海道及び小樽市の熱烈なる支持後援を得て同年四月より新校舎の建設に着手、七月落成を見て茲に名實共に兼ね備はるに至つたのである。

二、特色

本大學部は既述の如く勤勞青年を對象とした短期夜間大學であつて、商業經濟を主とした理論並びに實務を教授し、將來實業界の幹部としての素地を築くと共に廣く優秀なる人材を育成せんとするものである。更に教職を希望する者に對しては教職課程を設置する手筈になつてゐる。

一、名稱、位置

名稱 小樽商科大學短期大學部
位置 小樽市綠町五丁目番外地(電話一〇一六番)

一、役員

學長 大野純一 學生部長(兼) 木部林二
主事 相澤正美 教務部長(兼) 早川三代治
事務局長(兼) 栗田源助 圖書館長(兼) 木村重義

一、職員定員、現員

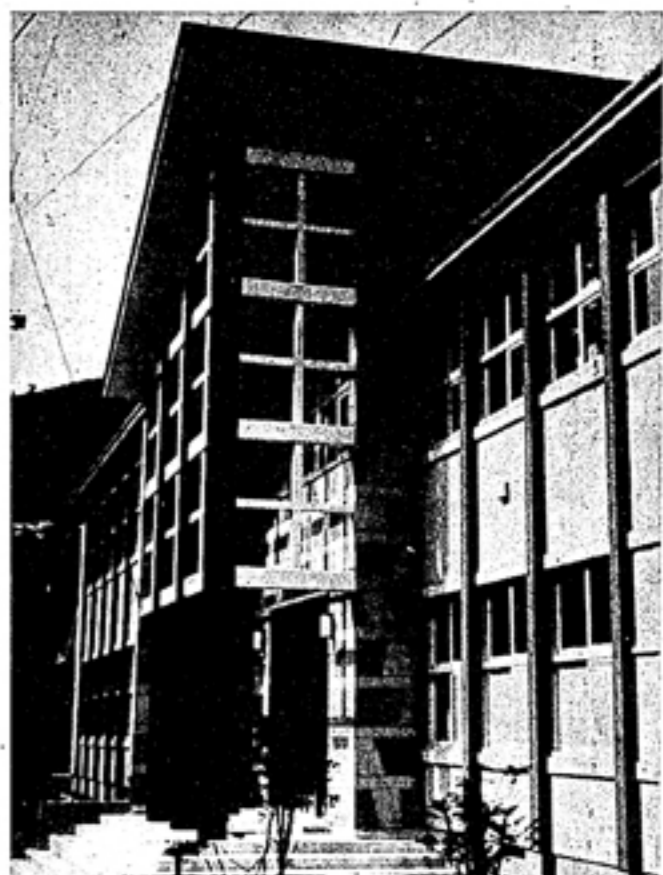
區別 學長 主事 教授 助教授 講師 師
定員 一 一 三 一 一 一
現員 一 一 十一(兼) 五(兼) 七(兼)

一、學生定員、現員

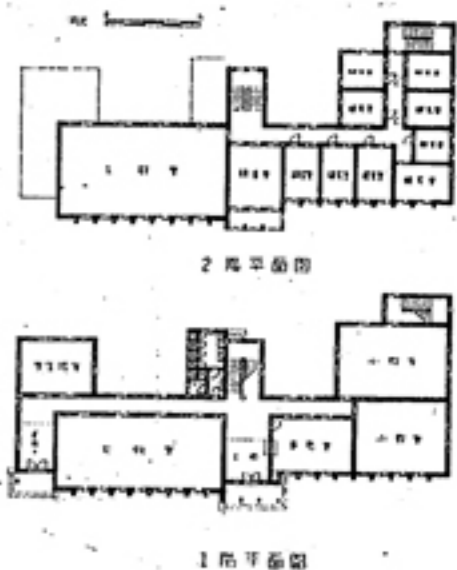
區別 二十七年度入學
定員 八〇
現員 男 二二 女 二
計 二四

一、学科課程表

教養專門別	科目	目
一般教育	人文科学關係。哲学、倫理学、文学、英語、獨語、佛語、華語、西語 社会科学關係。心理学、社会学、經濟学、法学(憲法二單位を含む) 自然科学關係。数学、物理学、化学	
專門	經濟原論、經濟史、經濟地理、經濟政策、貿易論、統計学、財政学、 商工經營、工場經營、財務管理、金融論、商業学、市場論、商品学、 交通論、保險論、貿易實務、商業英語、商業数学、簿記、原價計算、	



小樽商科大学短期大学部新校舎平面図



一、沿革

本大學部は昭和二十七年三月三十一日國立學校設置法によつて設置せられ、同年四月十一日第一回の入學試験を経て五月一日より授業を開始したのである。そもそも本大學部の母体である小樽商科大学はその前身小樽經濟專門學校並びに小樽高等商業學校を通じて四十数年の歴史を有し六千有余の卒業生を出し我國經濟の發展に貢献し來たのであるが、たまたま昭和二十四年五月新制單科商科大学として發足するに及び種々の事情から大學に進学し得ない多數の勤勞青年の爲に短期大學設置の要望が各方面より熾まり、北海道及び小樽市の熱烈なる支持後援を得て同年四月より新校舎の建設に着手、七月落成を見て茲に名實共に兼ね備はるに至つたのである。

二、特色

本大學部は既述の如く勤勞青年を對象とした短期夜間大學であつて、商業經濟を主とした理論並びに實務を教授し、將來實業界の幹部としての素地を築くと共に廣く優秀なる人材を育成せんとするものである。更に教職を希望する者に對しては教職課程を設置する手筈になつてゐる。

一、名稱、位置

名稱	小樽商科大学短期大学部
位置	小樽市緑町五丁目番外地(電話一〇一六番)

一、役員

学長	大野純一	学生部長(兼)	木部林二
主事	相澤正美	教務部長(兼)	早川三代治
事務局長(兼)	栗田源助	圖書館長(兼)	木村重義

一、職員定員、現員

區別	學長	主事	教授	助教授	講師	師
定員	1	1	3	5	7	
現員						

一、學生定員、現員

區別	二十七年度入學	
定員	80	現
現員	44	計
	男	女
	11	21
	14	4

一、学科課程表

教養専門別	科目
一般教育	人文科学關係。哲学、倫理学、文学、英語、獨語、佛語、華語、西語 社会科学關係。心理学、社会学、経済学、法学(憲法二單位を含む) 自然科学關係。数学、物理学、化学
専門	經濟原論、經濟史、經濟地理、經濟政策、貿易論、統計学、財政学、 商工經營、工場經營、財務管理、金融論、商業学、市場論、商品学、 交通論、保險論、貿易實務、商業英語、商業数学、簿記、原價計算、 會計学(監査を含む)、民法、商法、産業關係法規、商業實務
体育	實技。講義

一、圖書

區別	和漢書	洋書	計	教養圖書	専門圖書
藏書冊数	5,200	11,200	16,400	10,000	6,400

一、施設

名稱	延坪	敷坪	名稱	坪	敷坪
校舎	1,560坪	2,110坪	校地	4,380坪	(小樽商科大学敷地内、五三坪のうち)
校舎	1,560坪	2,110坪	校地	4,380坪	(小樽商科大学敷地内、五三坪のうち)

二、施設

名稱	延坪	室数	名稱	延坪	室数
本館	1,100坪	五六	室内ホール	100坪	1
圖書部	1,100坪	七	學生ホール	100坪	1

小樽商科大学短期大学部學則(抄)

目的及び修業年限

本短期大学部は産業に關する實際的な大學教育を授け産業の興隆並びに文化の發展に貢獻すべし教養識見を備えた人格者の養成を目的とする(第一條)
本短期大学部の修業年限は三年(夜間)とする(第二條)

學年・學期及び休業日

學年は四月一日に始まり翌年三月三十一日に終る(第三條)
學年を二學期に分け學年の始めより九月三十日までを第一學期とし、十月一日より學年の終りまでを第二學期とする(第四條)
學年中授業を行わない日(休業日)は國の定める祝日、日曜日、本學創立記念日のほか次の通りとする(第五條)

春季休業	三月二十一日から四月十日まで
夏季休業	七月二十日から八月二十日まで
冬季休業	十二月十日から翌年一月二十日まで

學科 科目

學科目はこれを一般教育科目、専門科目及び体育に分ける(第七條)

一般教育科目及びその単位数は次の通りとする(第八條)

- A. 人文科學關係
 - 哲學四、倫理學二、文學四、英語六、獨語三、佛語三、華語三、西語三、社會科學關係
- B. 社會科學關係
 - 心理學四、社會學四、經濟學四、法学(憲法二單位を含む)四、自然科學關係
- C. 自然科學關係
 - 數學四、物理学二、化學二、

専門科目及びその単位数は次の通りとする(第九條)

- 經濟原論四、經濟史四、經濟地理二、經濟政策二、貿易論四、統計學四、財政學四、商工經營四、工場經營四、財務管理二、金融論四、商業學四、市場論四、商品學二、交通論四、保險論四、貿易實務四、商業英語四、商業數學二、簿記四、原價計算四、會計學(監査を含む)四、民法四、商法四、産業關係法規四、商業實務二、体育の單位数は講義一單位、實技一單位とする(第十條)

授業は一學年を三十週とし講義については毎週一時間十五週をもつて一單位とし、數學演習、語學演習等は毎週二時間以上十五週をもつて一單位とし、實驗、實習、實技は毎週三時間十五週をもつて一單位とする(第十二條)

履修方法

左記に掲げる科目は必ず履修しなければならない(第十三條)

- 一般教育科目 英語
- 専門科目 經濟原論 商業學 簿記 商法 體育 實技 講義

一般教育科目のうちから人文科學關係、社會科學關係及び自然科學關係の三系列から各四單位以上合計二十單位以上を履修し、専門科目については三十單位以上を履修しなければならない右の外体育二單位及び一般教育科目及び専門科目中より更に十單位以上を選択履修し、合計六十二單位以上を履修しなければならない(第十四條)

單位の修得は科目修了の認定による(第十六條)

入学、卒業、休學、轉學、退學及び除籍

入学の時期は毎學年の始とする(第十八條)

入学資格者は高等学校以上の課程を修了した者若しくはこれと同等以上の学力があると認められた者とし選考の上入学を許可する(第十九條)

本短期大学部に三年以上在學し所定の單位数を修得したときは卒業證書を授與する(第二十條)

休學、轉學又は退學については學長の許可を得なければならない(第二十一條)

學生は左の各號の一に該當する場合は除籍される(第二十二條)

- 一、疾病その他の事由で成業の見込がないと認められたとき
- 二、授業料の納付を怠つたとき

授業料及び入學料その他の費用の徴收

授業料は一學年四千八百圓とする(第二十三條)

入学又は轉學を志願する者は檢定料として金四百圓を納めなければならない(第二十六條)

入学又は轉學を許可された者は入學料として金四百圓を納めなければならない(第二十七條)

實驗、實習、その他の費用の徴收についてはその都度これを定める(第二十八條)

職員組織及び學生定員

職員組織は國立学校設置法及び同施行規則の定めるところによる(第二十九條)

學生定員は二四〇名とする(第三十一條)

賞 罰

學業又は他の業績の優秀な學生に對して學長はこれを表彰することがある(第三十五條)

本短期大学部の規則に違背し又は學生の本分に反する行爲があつた學生に對して學長はこれを懲戒する

懲戒は譴責、停學及び退學とする(第三十六條)

264 200万
 250万
 255万
 77

682万 2出

牙一	西有七	260	90
牙二	加路	150	100
牙三	木村	50	900
牙四	森	100	800
牙五	...	450	100
牙六	...		
牙七	...		
牙八	...		90
牙九	...		
...	...	20	9-12
...	...		
...	...		

#02077

昭和二十七年七月
短期大学
資金関係文書

T377.1
シ

市立小樽図書館
Tel 0134 (22) 7726



1110121934